

絵：ひらっち

2009J.League Division2 第６節 アビスパ福岡 戦

4/5（日） 16:00～ ＠岐阜メモリアルセンター長良川競技場

today's guest
アビスパ福岡

2008 J2第 8位
■対戦成績
第 07節　08/04/12 福岡 1-5岐阜
第 22節　08/06/25 岐阜 0-1福岡
第 38節　08/09/27 岐阜 1-1福岡

2009J2

■順位表■第 05節終了
勝点、得失点差、得点、岐阜戦の戦績
（岐阜から視て）

1	C大阪	15p	+ 7	10	
2	湘南	15p	+ 5	7	
3	水戸	12p	+ 3	7	
4	愛媛	10p	+ 5	9	A●
5	甲府	10p	+ 2	4	H●
6	草津	9p	+ 1	8	H○
7	徳島	7p	+ 3	7	A●
8	福岡	7p	+ 1	6	
9	仙台	7p	0	2	
10	東京Ｖ	7p	- 1	3	
11	岐阜	6p	- 4	3	--- --- ---
12	富山	5p	- 1	2	
13	岡山	4p	- 1	2	
14	札幌	4p	- 2	4	
15	熊本	4p	- 4	4	
16	鳥栖	4p	- 4	3	
17	横浜Ｃ	1p	- 4	4	
18	栃木	0p	- 6	6	A○

次回 HomeGame

第 8節
ベガルタ仙台戦
4/15（水） 19:00
＠岐阜メモリアルセンター長良川競技場

投稿募集！

gidaidohri@hotmail.co.jp
お待ちしています！

ＦＣ岐阜大好き通信（岐大通）
4/5号
編集発行：『岐大通』製作委員会
今号の製作担当：ささたく＆吉田鋳造

●おしらせ●

2009年版『岐大通』は、試合数増加のために全ホーム戦での発行を断念し、3～4節ごとに発行の体制で臨んでおります。今後の発行予定です。
4/25鳥栖戦→5/9岡山戦→5/24熊本戦……
よろしくお願い申し上げます。

◇今季ホーム戦初勝利！岐阜 1-0草津【第４節】

●後半のみの観戦になってしまったが、FC岐阜は最終ラインを高めに取ってとても攻撃的にゲームを進めているようにみえた。今回は交代がうまくハマッたようにみえる。西川の高さを生かしたプレーを見せておいて、染矢の速さで相手ディフェンスをかく乱する。それが終了間際の決勝点に結びついたように映った。ゴールシーンに二人とも絡んだのは偶然ではない。（ST57）

●スコアレスドローも覚悟しはじめたときにミドルレンジから放たれた染矢のシュート・・・ＤＦのブラインドになっていたこともあるが、相手ＧＫ本田が１歩も動けない実に鮮やかなシュートでした。東海リーグ時代の天皇杯での対戦から数えて５戦目苦渋を舐めさせられてきた岐阜にとって、実に歴史的な勝利だと思います。
この試合で光っていたのは、ボランチの橋本ですかね。全体のバランスに気を配り、危険な場面には必ず顔を出し目立たないながらもそのプレーぶりは、さすが海外で揉まれてきているものがあるなと感じました。
やはり、ホームでの勝利は嬉しさもひとしおですね。家路につくお客さんがみなニコニコとしながら、会場を後にするのを見るにつけその思いは強くなりました。（岐阜の誇り）

●試合終了のホイッスルが鳴ると同時に目頭が熱くなった。涙目で周りの仲間達と喜びを爆発させながら見た彼らの目も心無しか潤んでいる様だった。
今季のホーム戦での初勝利にして対ザスパ草津戦においての初勝利。ＦＣ岐阜を愛する一人一人が様々な想いと共にこの勝利を噛み締めていたことだろう。その中の一人である自分の目頭を熱くさせたのは選手達のひたむきに走りつづける姿と粘り強くボールを追いつづける姿勢だった。
この日の観客は２３３２人。Ｊ２の基準で見ても「多い」とは言えないだろう。しかしながら、平日の夜であり気温もかなり低かったことを考えれば大勢の方々が足を運んでくれたものだと思う。
当然、スタジアムに足を運ぶために一人一人がいろいろなものと兼ね合いをつけて来てくれたはず。リーグ戦という観点で見れば「１／５１」の試合なのかも知れないが、同時に観客にとっては「１／１」の試合でもある。２００９シーズンＪ２第４節は二度と訪れることもなく、中には今シーズンで唯一観ることのできる試合がこの試合という方もいたかも知れない。そんな観客の前で、足を運ぶに値する「気持ちの強さとひたむきさ」をピッチ上で表現し、勝利という最高の形で応えてくれた選手達。そんな選手達が、くしゃくしゃの笑顔でバックスタンドの前にやってくるのを涙で少しぼやけた目で見ながら思った。
クラブとして新しいスタートをしたばかりのＦＣ岐阜。至らないところや足りないものもたくさんある。それでも選手達はひたむきに粘り強く戦ってる。そしてピッチからそれを僕らに伝えてくれている。そして多くの人達を笑顔にしようと頑張ってくれてる。そんな選手達と共に歩んでいけることに改めて感謝すると同時に、願わくば一人でも多くの人達にこのひたむきな選手達を観にスタジアムに足を運んでもらいたいと強く思った。
多くの人々がスタジアムに足を運ぶことが選手達の力になり、それを糧にした選手の頑張りが足を運んだ人達にも力をくれる。そういった良いサイクルを生み出せる希望に満ちたゲームだった。だからこそ今後もホームでの試合では一層のひたむきさと粘り強さを期待したい。そしてそれがでる選手達だと信じています。そのためにみんなで今季も支え続けます。一緒に頑張ろう。（マツヒラ）

●ホーム開幕となった甲府戦では、残念ながら敗れた岐阜。しかし９０分間最後までひたむきに走るプレーは、負けたとはいえ何かしらの感動を与えてくれるものだった。しかし、続くアウェイ愛媛戦では大敗。次のホームでの対戦相手は３連勝中、しかも昨年は１度も勝てなかった草津。更にいえば、３年前の東海リーグ１部時代に天皇杯で対戦して以来、勝てていない嫌な相手。中３日でどのように修正してくるか注目の中、先発を入れ替えて望むチーム。そして、前節とはうって変わって機能するチーム。どこまでもボールを追いかけ、走り続けることで徐々にゲームを制していく。後半になると更にその傾向は強くなり、何度も惜しいシーンは作るものの、得点する事ができない。全員の献身的なプレーで負ける雰囲気はしないのだけれど、フィニッシュで後ひとつ、ゴールに至る何かが足りない。そんなジリジリ焼け付くような感覚の中で迎えた試合終了間際の８８分、途中出場した染矢がミドルシュート。無回転のそれは、無反応のGKを横目に枠を捉えてゆっくりとゴールに向かっていき…そしてネットに刺さり、ポトリと落ちる。一瞬息を呑み、そして大爆発するスタジアム。そして最後まで走り続け、試合終了。再び歓喜に沸くスタジアム。「やっと草津に勝てた」「ホームで勝てた」と安堵感にも似た気持ち。挨拶に来てくれた選手達の本当に嬉しそうな表情が実に誇らしく、印象的だった。昨年は３勝しかできなかったホーム長良川。今年まず１勝できたことを喜びたいが、これからも「ホームで勝つ」ことに拘ってほしい。そして、昨年よりも多く、ホームでの勝利の喜びを選手達とともに分かち合いたい。今年は、それが出来るような気がする。（ささたく）

◇次節対戦の水戸サポ氏より笠松陸上の取扱説明書です

●どうも、いつもお世話になってます。水戸サポから、今年の笠松（not競馬場）の取り扱い説明書です。
まず、今年からアウェーサポはアウェーゴール裏席を買ってもらうことになりました。今までのＡ席ではなく、アウェー席です。そして、バックスタンドとアウェーゴール裏の行き来が、ホーム開幕戦（徳島戦）はなぜか出来たのですが、２試合目から柵が出来て通り抜け出来なくなりました。もし、ゴール裏派ではないし・・・って方で遠征に来る方には申し訳ないです。
売店の状況も去年と変わり、火が使えなくなってしまったため、店から持参して持ってきております。長良川に慣れた岐阜サポたちが満足してくれるものか正直、不安です。ただ、火を使う必要のないねばり丼やパフェなどは相変わらずのクオリティなので期待してください。
アクセスですが、先月末に東海PAスマートICがオープンしましたが、岐阜方面から来る場合は那珂ICの方が道筋に沿っているので、那珂を使ってください。電車派の方へは東海駅の西口階段下の東海村出張所で無料でレンタサイクルが借りられますが20台程度なのでご注意を。タクシー、徒歩の場合は佐和駅の方が近いです。それでは多数のご来場をお待ちしています。（水戸サポ／izumi。）